

要請書

1. にじの丘学園の通学について

公教育においては、児童生徒の通学の安全確保は、教育環境の保障という点で、学校および教育委員会の責任だと考えます。そこで、以下のことを要望します。

①児童の通学には、スクールバスを運行させること。

路線バスでの通学は、児童に負担と危険が大きく、災害時や下校時間に合わせた柔軟な運行も困難なため、児童の安全が確保できない。当初の計画通りスクールバスにすべきである。

②スクールバスの運行が困難で路線バスの利用を続ける場合、利用料は無償とすること。

元来、義務教育は無償である。また、通学にバスを利用するのは広域通学によるもので、保護者が自己都合で選択したものではない。

③徒歩通学かバス通学かの選択を保護者にゆだねず、学校が判断すること。

通学方法は、どの学校でも自宅からの距離と安全性を考え、学校側で決めている。地域ごとの児童の登校状況を把握する上でも統一する必要がある。

④バスや通学路の見守りは、ボランティアやPTAではなく、学童擁護員を雇用して行うこと。

ボランティアでは人員の確保ができない上、責任問題も曖昧なため、児童の安全の確保にはつながらない。通学路やバス停などで危険が予想される箇所すべてに必要な人員を、予算をあてて配置すべきである。

⑤保護者の送迎用駐車場を校舎の近くに増設するとともに、学校への道路を拡げること。

現在の保護者用駐車場は、校舎への距離があり、非常に不便である。また、道幅が狭いため渋滞が生じ、送迎に時間がかかる上、児童にも危険がおよぶ。

2. 瀬戸市全体の学校について

①大雨等災害の危険に関する指示を統一すること。

先日の豪雨の折、保護者の判断で登校を決めてほしいとの連絡があったり、指示が二転三転したケースがあったりした。家庭に判断を委ねるのでなく、学校として統一した基準が必要である。

②全市的に通学路点検をし、側溝にふたをするなどの対策をとること。

瀬戸市内には蓋のない側溝が多く、雨量が多いときに児童の足がはまる危険性がある。

③各学校に冷水機を設置するか、飲料水を配り、児童の水分補給分を確保すること。

学校から各自水筒を持参するよう指示があるが、荷物が多い上に水筒を何本も持たせるのはあまりにも負担が大きすぎる。各学校で準備してほしい。

3. 瀬戸市の教育予算について

①にじの丘学園と他の学校で、図書や机椅子などの設備費用に不公平感がある。

教育予算の使い方は学校による偏りをなくし、平等にすること。

②感染予防上、三密を避けるために、各学校で少人数学級に編成替えを検討すること。

令和2年7月31日

保護者のみなさまへ

瀬戸市教育委員会

新型コロナウイルスの感染または感染が疑われる場合への対応について

日頃は本市の教育行政に多大なるご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、日本各地で新型コロナウイルス感染症の感染者が再び増加してきました。愛知県内でも連日多くの感染者が報告されています。そこで、今後（夏季休業中を含む）の新型コロナウイルスの感染または感染が疑われる場合の対応について下記のとおりお知らせします。

なお、今回お示しする内容は対応の原則となります。個々の事案については、各学校と相談をいただきますようお願いいたします。

記

- 1 児童生徒本人が感染者となった場合
 - ・ 児童生徒本人は出席停止となります。
 - ・ 学校は3日間の臨時休校とし、消毒等を行います。その後は、状況によって臨時休校の継続、学年閉鎖や学級閉鎖を行う場合があります。
- 2 児童生徒本人が濃厚接触者となった場合
 - ・ 児童生徒本人は出席停止となります。
 - ・ 検査を受け陰性となった場合であっても、感染者と最後に接触してから2週間は健康観察期間として出席停止となります。
- 3 児童生徒本人の身近な方（家族等）が、濃厚接触者となった場合
 - ・ 濃厚接触者となった方の検査結果が出るまでの間、児童生徒については登校を見合わせていただきますようお願いいたします。
 - ・ 濃厚接触者となった方が陽性であった場合、児童生徒は出席停止となります。
 - ・ 濃厚接触者となった方が陰性であった場合、児童生徒本人は通常通りの登校となります。

上記1から3に該当する場合は学校への連絡をお願いします。なお、連絡は夏季休業中であってもお願いします。ただし、8月11日（火）から14日（金）の学校閉庁期間については、瀬戸市役所学校教育課（0561-88-2760）まで連絡をお願いします。

第43回尾東地域・父母と教師の集い

『子どもたち、周りの人への言葉かけ

～どう話したらうまく伝わる？』

アドバイザー：金子やよいさん(セラピスト、元児童福祉施設職員)

コロナ警戒中です。マスクの着用をお願いします。席は距離を開けたいと思います

父母・教員のみなさん…

セラピストの金子やよいさんは、「子育てサロン」で、お母さんたちの子育ての悩み一つ一つにいつもとても丁寧にアドバイスしてくださいます。

「イヤイヤ期・反抗期・思春期の子どもとの接し方」

「何度いっても、片づけや、勉強をしてくれない。」

「学習意欲のない子を少しでもやる気にさせ、いきいきと学校へきてもらう言葉かけは？」
などに対して、色々なヒントがもらえます(*^^)v

「子どもや話し相手は様々な特性・感じ方を持っている」「自分が困っている本当の部分は？どうしたいのか？」など新しい気づきに出会えるかも？！

とき：10月18日(日)

13:00 開場・受付 13:30～15:30 金子さんに聞いてみよう！(休憩あり)

☆入場無料 ☆お茶・お菓子付き

ところ：尾張旭市中央公民館302会議室(定員42名の広い部屋です。)

(名鉄瀬戸線 尾張旭駅南へ徒歩 10 分)

